

Business Report



ONO'S VIEW

第65期 第2四半期のご報告

平成24年4月1日～平成24年9月30日

Dedicated to Man's Fight against Disease and Pain

病気と苦痛に対する人間の戦いのために

当社は、この経営理念のもと、いまだ満たされない医療ニーズに応えるため、真に患者さんのためになる革新的な新薬の創製を目指し、努力を続けています。

目次	株主の皆さまへ	01
	営業の概況(連結決算)	02
	中間配当金について	04
	通期の見通し	05
	連結財務諸表	06
	製品情報	08
	研究開発活動	09
	提携活動	12
	TOPICS	13
	会社の概要	16
	株式の状況	17



1968年(昭和43年)に中央研究所(現在の水無瀬研究所)の建設を記念して建立されたモニュメント。小野薬品の経営理念がここに刻まれています。

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援、ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第65期第2四半期累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)につきましては、4月からの薬価引き下げに加え、新たな後発医薬品使用促進策の実施など、医療費抑制政策が強化されましたが、新製品を中心とした主力製品の積極的な学術情報活動などにより、増収を達成することができました。

現在、医薬品業界においては、新薬創製の成功確率が年々低下し、世界的に研究開発コストが増大する一方、種々の医療費抑制政策が進展するなど、厳しい環境が続いています。こうしたなか、わたしたちは三つの取り組みを一層推し進めています。

国内市場の営業基盤の強化

薬価の改定や医療費抑制のための諸施策による影響を最小限に抑えるべく、新製品の評価を早期に確立し、売上拡大に努め、売上に占める新製品の比率を高めていきます。

開発パイプラインの拡充

世界最先端の技術を活用した、独創的かつ画期的な医薬品創製を加速する取り組みを進めるとともに、積極的なライセンス活動にも注力していくことで、今後も継続的な新薬上市につながる開発パイプラインの拡充に努めていきます。

海外での自社化合物の承認取得

自社で生み出した新薬を世界中でご使用いただけるよう、グローバルな事業展開を推進していきます。まずは、提携企業への導出や海外企業との連携・提携により、自社創製化合物が海外で承認を取得し、発売されることを目指します。

当社は、「病気と苦痛に対する人間の戦いのために」という経営理念のもと、いまだ満たされない医療ニーズに応えるため、真に患者さんのためになる革新的な新薬の創製を目指し、積極的な努力を続けていきます。

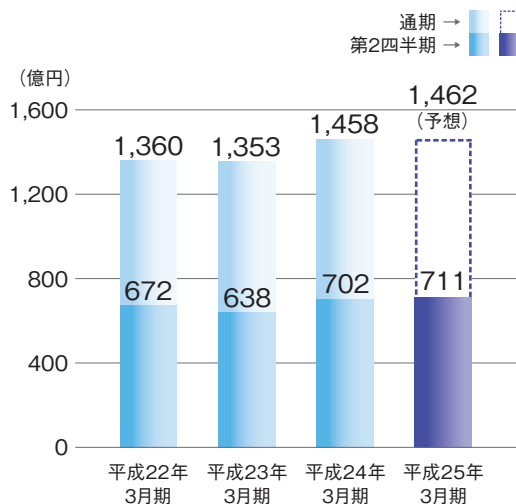
株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 相良 暁

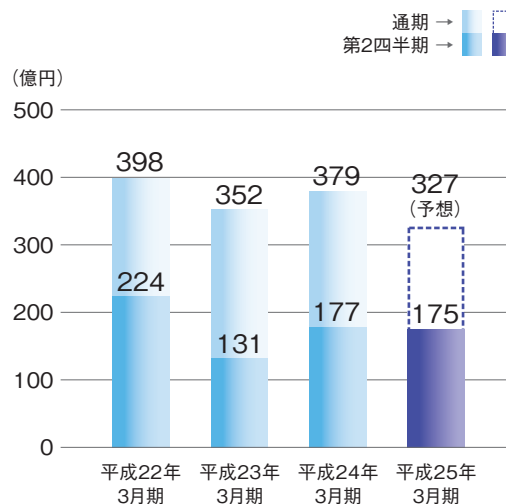
売上高

711億円 前年同期比 **1.3%増**



営業利益

175億円 前年同期比 **1.0%減**



新製品の伸長により増収を達成

薬価改定の影響や後発医薬品使用促進策の影響などによる長期収載品の売上減少はあったものの、2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」、骨粗鬆症治療剤「リカルボン錠」をはじめとする新製品の売上が増加し、当第2四半期の売上高は前年同期比9億円(1.3%)増の711億円となりました。

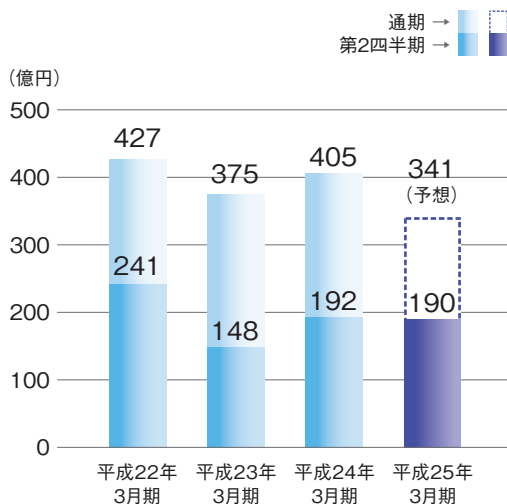
販売費及び一般管理費が減少するも売上原価が増加し微減益

研究開発費や営業関連経費が予想を下回るなど、販売費及び一般管理費が減少しました。一方で、原価率の高い新製品(導入品)の売上に占める割合が上昇し、売上原価が増加したことにより、当第2四半期の営業利益は前年同期比2億円(1.0%)減の175億円となりました。

経常利益

190億円

前年同期比 **1.2%減**



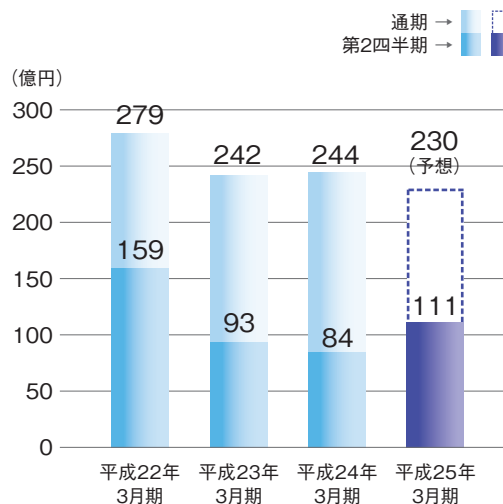
営業外収益の減少などにより微減益

営業外収支が前年同期を若干下回り、当第2四半期の経常利益は前年同期比2億円(1.2%)減の190億円となりました。

四半期純利益

111億円

前年同期比 **32.1%増**



特別損失が減少し増益

株価の下落により投資有価証券評価損を計上したものの、特別損失は前年同期と比較して22億円減少しました。また、法人税等の負担が減少したため、当第2四半期の四半期純利益は前年同期比27億円(32.1%)増の111億円となりました。

営業の概況（連結決算）

財政状態

	前期末 平成24年3月31日現在	当第2四半期末 平成24年9月30日現在	増減
総資産（億円）	4,364	4,300	△ 64
純資産（億円）	4,010	4,012	+ 2
自己資本比率（%）	91.2	92.6	+ 1.4
1株当たり純資産（円）	3,753.04	3,754.53	+ 1.49

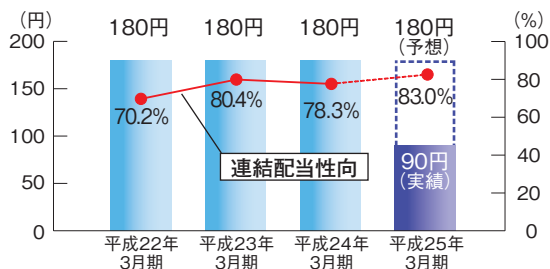
（単位：億円）

キャッシュ・フローの状況

	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	増減
現金及び現金同等物期首残高	826	851	
営業活動によるキャッシュ・フロー	136	98	△ 38
投資活動によるキャッシュ・フロー	61	48	△ 13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 95	△ 93	+ 3
換算差額	0	△ 1	△ 1
増減	102	52	
現金及び現金同等物の四半期末残高	927	903	

中間配当金について

〈過去3年の年間配当実績と当期予想〉



株主の皆さまへの当期の中間配当金につきましては、1株につき90円とさせていただきます。なお、当期の期末配当金につきましても、1株につき90円とし、年間にお支払いする配当金は、1株につき180円を予定しています。

売上高

1,462億円 前期比 **0.3%増**

引き続き薬価改定や後発医薬品使用促進策の浸透によるマイナス影響は想定されるものの、「グラクティブ錠」、「リバスタッチパッチ」、「リカルボン錠」などの新製品の売上拡大を図ることにより、通期の売上高については前期比4億円(0.3%)増の1,462億円を予想しています。

営業利益

327億円 前期比 **13.7%減**

原価率の高い新製品(導入品)の売上比率が一層高まるものと想定しています。また、積極的な研究開発活動などにより、販売費及び一般管理費が増加する見込みですので、通期の営業利益は前期比52億円(13.7%)減の327億円を予想しています。

経常利益

341億円 前期比 **15.7%減**

低金利の長期化による金融収支の悪化などで、営業外収支が前期比12億円減少の14億円程度になるものと見込んでおりますことから、通期の経常利益は前期比64億円(15.7%)減の341億円を予想しています。

当期純利益

230億円 前期比 **5.6%減**

保有目的の見直しに伴う投資有価証券売却益7億円の計上を見込んでいます。また税制改正に伴う税金費用の減少も見込まれるため、通期の当期純利益は前期比14億円(5.6%)減の230億円を予想しています。

連結財務諸表

連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	期別	前期 平成24年 3月31日現在	当第2四半期 平成24年 9月30日現在	科目	期別	前期 平成24年 3月31日現在	当第2四半期 平成24年 9月30日現在
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産		202,235	205,111	流動負債		31,041	24,540
現金及び預金		20,959	16,473	支払手形及び買掛金		5,767	4,141
受取手形及び売掛金		37,853	35,199	1年内返済予定の長期借入金		1	101
有価証券		104,813	112,956	未払法人税等		8,875	6,202
たな卸資産		18,637	21,273	引当金		5,858	5,559
繰延税金資産		14,808	14,816	その他		10,538	8,535
その他		5,168	4,397	固定負債		4,403	4,290
貸倒引当金		△ 5	△ 5	長期借入金		11	185
固定資産		234,177	224,926	長期未払金		72	72
有形固定資産		47,979	48,022	引当金		1,659	1,374
建物及び構築物		22,643	22,328	その他		2,659	2,657
土地		22,549	22,543	負債合計		35,445	28,830
その他		2,786	3,150				
無形固定資産		994	1,142	(純資産の部)			
投資その他の資産		185,203	175,762	株主資本		401,021	402,546
投資有価証券		168,690	160,338	資本金		17,358	17,358
繰延税金資産		4,579	4,727	資本剰余金		17,079	17,079
その他		11,941	10,704	利益剰余金		425,787	427,318
貸倒引当金		△ 8	△ 8	自己株式		△ 59,204	△ 59,210
				その他の包括利益累計額		△ 3,129	△ 4,501
				その他有価証券評価差額金		5,725	4,484
				土地再評価差額金		△ 8,577	△ 8,577
				為替換算調整勘定		△ 277	△ 408
				少数株主持分		3,076	3,162
				純資産合計		400,968	401,207
資産合計		436,413	430,037	負債純資産合計		436,413	430,037

連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	期別	前第2四半期累計期間 自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	当第2四半期累計期間 自平成24年4月1日 至平成24年9月30日
	売上高		70,170
売上原価		13,494	16,282
売上総利益		56,675	54,829
販売費及び一般管理費		38,996	37,322
(研究開発費)		(22,119)	(20,837)
営業利益		17,678	17,506
営業外収益		1,843	1,724
営業外費用		330	278
経常利益		19,191	18,952
特別利益		—	127
特別損失		3,853	1,605
税金等調整前四半期純利益		15,338	17,474
法人税、住民税及び事業税		6,781	6,307
少数株主損益調整前四半期純利益		8,556	11,166
少数株主利益		173	94
四半期純利益		8,382	11,072

※1株当たり四半期純利益 79円07銭 104円44銭

連結株主資本等変動計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当期首	変動額	当第2四半期
	平成24年 4月1日現在		平成24年 9月30日現在
資本金	17,358	—	17,358
資本剰余金	17,079	—	17,079
利益剰余金(注)	425,787	1,530	427,318
自己株式	△ 59,204	△ 5	△ 59,210
株主資本合計	401,021	1,524	402,546
その他有価証券評価差額金	5,725	△ 1,240	4,484
土地再評価差額金	△ 8,577	—	△ 8,577
為替換算調整勘定	△ 277	△ 131	△ 408
その他の包括利益累計額合計	△ 3,129	△ 1,371	△ 4,501
少数株主持分	3,076	85	3,162
純資産合計	400,968	238	401,207

(注)利益剰余金の変動要因

四半期純利益 11,072百万円
剰余金の配当 △ 9,541百万円

主な製品の売上高の状況

製品名	当第2四半期 売上高(実績) (億円)	対前年同期 増減率 (%)	平成23年度 売上高(実績) (億円)	平成24年度 売上高(見込み) (億円)	対前期 増減率 (%)
グラクティブ錠	170	+ 32.9	279	350	+ 25.6
オバルモン錠	174	△ 13.4	395	335	△ 15.2
オンカプセル	71	△ 19.0	191	165	△ 13.7
キネダック錠	46	△ 21.5	112	90	△ 19.7
フオイバン錠	46	△ 12.5	102	85	△ 16.4
リカルボン錠	33	+ 155.1	35	80	+ 127.5
イメンド／プロイメンド	39	+ 24.6	67	75	+ 11.7
オノドライシロップ	31	△ 5.7	76	75	△ 1.4
ステーブラ錠	33	+ 11.5	61	70	+ 14.3
注射用エラスポール	19	△ 10.0	44	40	△ 8.1
リバスタッチパッチ	17	+ 308.3	12	38	+ 208.6
注射用オノアクト	18	+ 6.8	33	36	+ 7.8

「イメンド®カプセル」が12歳以上の小児患者さんに対する追加適応の承認を取得



本剤は抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐治療剤で、平成21年の発売以降多くの成人患者さんにご使用いただいておりますが、医療現場では小児患者さんへの適応の追加が強く望まれ、厚生労働省に要望書が提出されていました。

当社は、こうしたご要望にお応えすべく、小児に対する適応を追加するための開発に取り組み、平成24年6月22日付で12歳以上の小児に対する追加適応の承認を取得しました。

真に患者さんのためになる 医薬品を開発して社会に貢献する



わたしたちは「真に患者さんのためになる医薬品を開発して社会に貢献する」ことを研究開発理念とし、これまで克服されていない病気や、いまだ患者さんの治療満足度が低く、医療ニーズの高い疾患領域に挑戦し、独創的かつ画期的な医薬品の創製に向けて努力を積み重ねています。

創薬の方針としては、これまで新薬創製のプロセスにおいて、脂質や酵素阻害などを重点領域と定め、各種標的に対する作用を持つ化合物をライブラリーとして蓄積し、その中から疾患や治療に結びつく薬剤を探し出す「化合物オリент」という創薬手法で独創的な新薬を

創製してきました。現在、疾患や治療に関連した化合物をより早く高い精度で探し出す技術を導入するなど、改良を加えた新たな「化合物オリент」による新薬創製を進めています。

また開発パイプラインには、現在、抗体医薬品を含む抗がん剤、がん悪液質の治療薬、オピオイド鎮痛薬の使用に伴う難治性便秘の治療薬など、がん治療およびその支持療法の領域の新薬候補化合物をはじめ、多発性硬化症や関節リウマチの治療薬候補などがあり、早期の上市に向けて開発を進めています。なかでも、がん治療およびその支持療法の領域はアンメットニーズが高いことから、当該領域を新たな戦略分野と位置づけ、支持療法を含むがん患者さんの包括的薬物治療への貢献を目指します。

今後も国内外での世界最先端技術を活用した独創的かつ画期的な医薬品の創製を目指すとともに、ライセンス活動による有望な化合物の導入などにより、質の高い新薬候補化合物の拡充にも努めるなど、研究開発活動の一層の強化に取り組みます。

開発品の進捗状況(国内)

(平成24年11月5日現在)

製品名 (開発コード)	対象疾患	薬理作用	開発ステージ			
			PI	PII	PIII	申請
オレンシアSC (ONO-4164SC)	関節リウマチ	T細胞活性化抑制作用	■	■	■	■
グラクティブ錠12.5mg (ONO-5435)	2型糖尿病(剤型追加)	DPP-4阻害作用	■	■	■	■
グラクティブ錠 (ONO-5435)	2型糖尿病 (速効型インスリン分泌促進薬との併用療法)	DPP-4阻害作用	■	■	■	■
グラクティブ・トホルミン配合錠 (ONO-5435A)	2型糖尿病	DPP-4阻害作用および肝糖新生抑制作用・インスリン抵抗性改善作用	■	■	■	■
プロイメンド点滴静注用 (ONO-7847)	抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐(小児)	ニューロキニン1受容体拮抗作用	■	■	■	■
リバスタッチパッチ (ONO-2540)	アルツハイマー型認知症(用法変更)	コリンエステラーゼ阻害作用	■	■	■	■
ONO-4538	腎細胞がん	完全ヒト型抗PD-1抗体	■	■	■	■
注射用オノアクト (ONO-1101)	心機能低下例における頻脈性不整脈	β_1 遮断作用(短時間作用型)	■	■	■	■
ONO-2745	全身麻酔	GABA _A 受容体作動作用(短時間作用型)	■	■	■	■
ONO-7165	非小細胞肺癌	腫瘍抗原MUC-1由来ペプチドワクチン	■	■	■	■
ONO-4641	多発性硬化症	S1P受容体作動作用	■	■	■	■
ONO-3849	オピオイド鎮痛薬の使用に伴う難治性便秘	μ オピオイド受容体拮抗作用	■	■	■	■
ONO-7643	がん悪液質	グレリン様作用	■	■	■	■
オバルモン錠 (OP-1206)	手根管症候群	血管拡張作用	■	■	■	■
ONO-4538	悪性黒色腫	完全ヒト型抗PD-1抗体	■	■	■	■
ONO-3951	過敏性腸症候群	κ オピオイド受容体作動作用	■	■	■	■
ONO-2745	ICU鎮静	GABA _A 受容体作動作用(短時間作用型)	■	■	■	■
ONO-7057	多発性骨髄腫	プロテアソーム阻害作用	■	■	■	■
ONO-5163	二次性副甲状腺機能亢進症	カルシウム受容体作動作用	■	■	■	■

ONO-6950	気管支喘息	ロイコトリエン受容体拮抗作用	→			
ONO-7056	固形がん	Rasシグナル阻害作用	→			
ONO-7268MX1	肝細胞がん	ペプチドワクチン	→			
ONO-1162	慢性心不全	Ifチャンネル阻害作用	→			

開発品の進捗状況（海外）

（平成24年11月5日現在）

製品名 （開発コード）	対象疾患	薬理作用	開発ステージ			
			PI	PII	PIII	申請
ONO-4538	腎細胞がん	完全ヒト型抗PD-1抗体	→		→	
ONO-4538	非小細胞肺癌	完全ヒト型抗PD-1抗体	→		→	
ONO-4641	多発性硬化症	S1P受容体作動作用	→	→		
ONO-6950	気管支喘息	ロイコトリエン受容体拮抗作用	→	→		
ONO-4053	アレルギー性鼻炎	プロスタグランジンD2受容体拮抗作用	→	→		
ONO-8539	胃食道逆流症	プロスタグランジン受容体（EP1）拮抗作用	→			
ONO-4538	C型肝炎	完全ヒト型抗PD-1抗体	→			
ONO-7746	血小板減少症	トロンボポエチン受容体作動作用	→			
ONO-2952	過敏性腸症候群	TSPO（トランスロケータープロテイン）拮抗作用	→			
ONO-9054	緑内障・高眼圧症	プロスタグランジン受容体（FP/EP3）作動作用	→			
ONO-4059	B細胞リンパ腫	Bruton's tyrosine kinase (Btk) 阻害作用	→			
ONO-8055	低活動膀胱	プロスタグランジン受容体（EP2/EP3）作動作用	→			

→ は前回ご報告（平成24年5月9日）時点からの進捗

当社では、国内外のバイオベンチャーとの創薬提携や、大学および研究機関との研究提携を積極的に進めることにより、画期的な創薬シーズの探索や世界最先端の技術を利用した創薬活動を推進しています。

バイオフィォークス社(英国)と 中枢神経疾患領域において創薬提携を開始

バイオフィォークス社とは、これまで自己免疫疾患領域およびアレルギー性疾患領域における新規創薬標的の探索を目指した研究提携を行っていますが、平成24年9月には、中枢神経疾患領域における新薬候補化合物の創製を目指した創薬提携契約を締結しました。

バイオフィォークス社は、同社が有する創薬基盤技術を駆使し、中枢神経疾患領域における未充足医療ニーズを満たすことが期待される新薬候補化合物の創製に取り組みます。当社は、今回の提携により創製される化合物を全世界で独占的に開発・販売する権利を有しています。



バイオフィォークス社

ドメイン社(フランス)とGPCRに関する創薬提携を開始

平成24年10月、ドメイン社とGタンパク質共役型受容体(GPCR)の制御薬の創製を目指して創薬提携契約を締結しました。

ドメイン社は、同社独自のスクリーニング技術であるDTect-All™技術を駆使し、当社が創薬標的として選択したGPCRに対する新薬候補化合物の創製に取り組みます。

当社は、今回の提携により創製される化合物を全世界で独占的に開発・販売する権利を有しています。



ドメイン社

認知症啓発ショートムービーを制作

平成24年9月に認知症の啓発活動の一環としてショートムービー『バアちゃんの世界』を制作し、当社ホームページ上のサイト「笑顔とこころでつながる認知症医療」(15頁参照)で公開しました。

『バアちゃんの世界』は、アルツハイマー型認知症の方とそのご家族の模様を描いたヒューマンドラマです。出演者は、裕木奈江さん、大鶴義丹さん、そしてご自身もお母様の介護をされている綾戸智恵さんで、アルツハイマー型認知症でよくみられる症状に対して、ご家族がどのように行動し、どう乗り越えていったかなどを描いた内容となっています。ぜひご覧ください。

バアちゃんの世界

検索

▼こちらのURLからもアクセスいただけます▼
<http://www.egaotokokoro.jp/ba-chan/>



新薬候補化合物を対象とした国内初のマイクロドーズ試験を実施

当社は、平成24年7月にマイクロドーズ試験を国内で初めて実施しました。

マイクロドーズ試験とは、本格的な臨床試験を開始する前に、健康な人に薬効や毒性が発現しない用量を投与し、薬物の吸収性や標的臓器への移行性などを確認する試験で、医薬品開発の効率化に有効な手法として、厚生労働省および経済産業省も推進しています。

今回、当社は国内で初めて新薬候補化合物を対象としたマイクロドーズ試験を実施し、期待通りの結果を得ることができました。

今後、マイクロドーズ試験を含む早期探索的臨床試験を積極的に新薬開発プロセスに組み込むことで、創薬研究の効率を高め、新薬創製の成功確率を高めていきたいと考えています。

当社ホームページのご案内

当社では、ホームページを通じて、ステークホルダーの皆さまに広く情報を発信しています。さまざまな情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。

アドレス：<http://www.ono.co.jp/>



1 決算情報などを掲載 株主・投資家の皆さまへ

当社の経営理念、経営方針、決算情報、株主総会などに関する情報を掲載しています。

経営理念	経営方針	利益配分の方針	IRライブラリー	財務ハイライト
IRカレンダー	株主総会招集通知・決議通知	株主メモ	電子公告	株価情報

2 最新情報をお届けする **What's New / News Release**

「What's New」には決算発表や株主総会に関する情報を掲載しています。「News Release」には当社から発信した最新のニュースを掲載しています。なお、年度をさかのぼった過去の情報もご覧いただけます。

3 認知症と向かい合う方々を応援する **笑顔とところでつながる認知症医療**

認知症を地域で支え合う医療従事者の方々の熱心な取り組みや工夫を取材し、その内容やそこから生まれる笑顔を紹介しています。一人でも多くの方が認知症医療について深く理解され、笑顔と共感を生むことを願い、これからもさまざまな情報をお届けします。なお、13頁でご紹介しましたショートムービー『バアちゃんの世界』もこちらでご覧いただけます。



4 当社をより知っていただく **小野薬品の企業紹介ビデオ**

享保2年(1717年)の創業以来295年にわたって当社が歩んできた歴史、現状と展望、そして研究・開発、生産、営業活動について紹介する11分強のビデオがご覧いただけます。



5 わたしたちの思いを伝える **小野薬品の企業広告**

新薬の創製にかける熱い思いを、新聞広告や企業CMを通して発信しています。こちらでは、平成24年以降の新聞広告、企業CMを掲載しています。ご覧いただきましたCMに対するご意見・ご感想をお寄せいただくこともできます。



■ 会社概要

社名	小野薬品工業株式会社
英文社名	ONO PHARMACEUTICAL CO.,LTD.
創業	享保2年(1717年)
設立	昭和22年(1947年)
資本金	17,358,275,607円
事業内容	医療用医薬品を主体とする各種医薬品の研究、開発、製造、仕入および販売
従業員数	2,821名(連結) 2,566名(単体)

■ 主要な事業所

本社	〒541-8564 大阪市中央区久太郎町一丁目8番2号 電話 06-6263-5670 〔 登記簿上の本店所在地 大阪市中央区道修町二丁目1番5号 〕
支店	札幌支店、仙台支店、東京第一支店、 東京第二支店、北関東支店、甲信越支店、 横浜支店、名古屋支店、京都支店、大阪支店、 神戸支店、高松支店、広島支店、福岡支店 (その他全国の主要都市に営業所等を設けています)
工場	城東工場(大阪府)、フジヤマ工場(静岡県)
研究所	水無瀬研究所(大阪府)、福井研究所、 筑波研究所(茨城県)
海外子会社	オノ・ファーマ・ユーエスエー インク(米国ニュージャージー州) オノ・ファーマ・ユーケー・リミテッド(英国ロンドン)

■ 取締役

代表取締役 取締役社長	相良 暁
取締役 副社長執行役員	栗田 浩
取締役 専務執行役員	佐野 敬
取締役 常務執行役員	川 澗 和 一 十
取締役 常務執行役員	藤 吉 信 治
取締役 執行役員	小 野 功 雄
取締役 執行役員	高 橋 文 夫
取締役 執行役員	福 島 大 吉

■ 監査役

監査役(常勤)	島 田 重 夫
監査役(常勤)	西 村 勝 義
社外監査役	間 石 成 人
社外監査役	荒 木 靖 夫

株式の状況 (平成24年9月30日現在)

■ 株式数

1. 発行可能株式総数 …………… 300,000,000株
2. 発行済株式の総数 …………… 117,847,500株
(自己株式11,818,400株を含む)

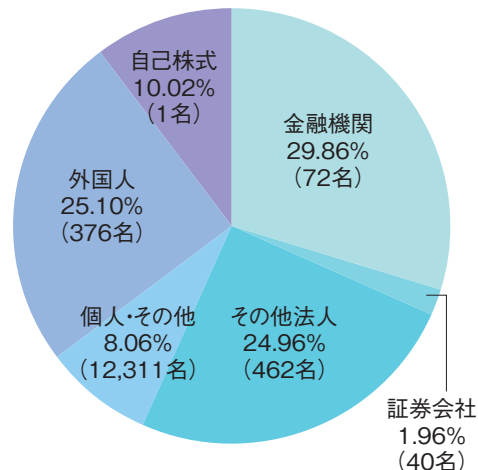
■ 株主数 …………… 13,262名

■ 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー	7,179	6.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,188	5.83
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,925	5.58
明治安田生命保険相互会社	3,718	3.50
株式会社 鶴鳴荘	3,298	3.11
公益財団法人 小野奨学会	3,285	3.09
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	2,458	2.31
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラー・アカウント	2,443	2.30
SSBT ODO5 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	2,024	1.90
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,728	1.62

- (注) 1. 当社は、自己株式11,818千株を保有していますが、上記大株主には記載していません。
2. 持株比率は、自己株式(11,818千株)を控除して算出しています。

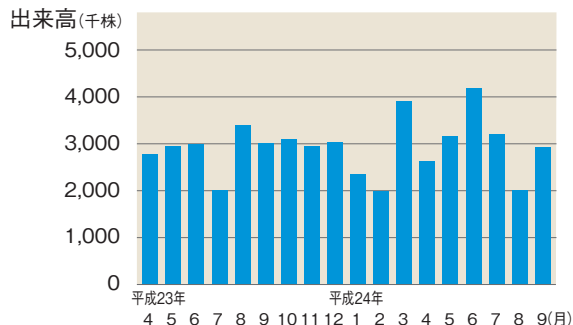
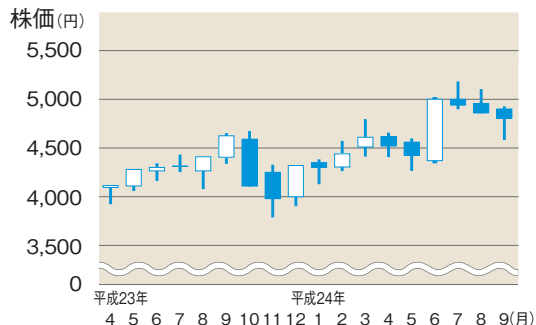
■ 所有者別の株式分布状況



(注) 比率は、小数点第3位以下を切り捨てているため、各項目の比率を加算しても100%になりません。

■ 株価および株式売買高の推移

(大阪証券取引所)



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会・期末配当：3月31日 中間配当：9月30日
公告の方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告を掲載するホームページのアドレス http://www.ono.co.jp/
上場証券取引所	東京・大阪証券取引所（証券コード4528）
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
各種お問合せ先 郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031（フリーダイヤル）
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 全国本支店

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページアドレス

<http://www.ono.co.jp/>



責任ある森林管理
のマーク
FSC® C022784

2012.11